



宮澤 芳雄 議員



干潟地域の小学校の統合について

問 市全体の統合に先駆けてなぜ干潟地区3校の小学校の統合が行われるのか、また古城小案はどのような理由なのか伺う。

答 干潟地区は児童・生徒数の減少が大きく、今後2学年が一つの教室で学習する複式学級となる可能性があるため、速やかに着手した。また、中和小学校、萬歳小学校は敷地全体が土砂災害警戒区域に入っており、敷地面積も狭いが、古城小学校は土砂災害警戒区域が一部であることや敷地面積が広いことから、統合小学校の候補地とした。

問 この統合計画は何年を目途に進めていくのか伺う。

答 各説明会や地域検討会議に1、2年、代表者会議や準備委員会で2、3年と想定しており、統合までに約5年程度の期間を目途に進めている。

問 古城小学校を改修する場合、過疎債は使えるのか伺う。

答 校舎等の改修工事は、国庫補助金の学校施設環境改善交付金の対象事業で、補助金額は過疎特例で10分の5・5となり、残り10分の4・5の市負担分について全て過疎債を充当することができる。



(仮称)干潟地域小学校候補地の古城小学校

中学校の部活動の地域移行について

問 中学校の部活動が地域に移行されるが、市ではどのように考えているのか伺う。

答 まずは休日における地域移行を進め、平日における活動についても課題解決を図りながら、徐々に地域に移行していくものと考えている。

その他の質問事項

○国土調査法による地籍調査を行った土地への課税について

誰もが安心して自宅以最期を迎えるために

問 独り暮らしの方が、自宅で安心して最期を迎えるために準備しておくことは。

答 エンディングノート等を作成し、自分の意思を分るようにしておく方法がある。当然、家族や主治医、関係機関の理解が必要であり、共通認識を持つておくことも大切。

問 死体検案書が提出された場合は、市からの葬祭費5万円支給に加えて、さらなる助成金の支給はできないか。

答 死体検案の費用に関する助成は、現在のところ予定はない。

問 エンディングノートを準備していても保管場所を伝えられないと、その方の意思を確認することができない。希望者のエンディングノートを市で保管できないか。

答 市ではエンディングノートとして「私の希望ノート」を発行している。保管は行っていないが、ひとり暮らし高齢者台帳の登録を受け付けており、高齢者等の情報把握に努めている。



旭市版エンディングノート

带状疱疹ワクチンの接種費用の助成金について

問 带状疱疹に苦しむ市民を減らすために、带状疱疹を未然に防ぐことができるワクチンの接種費用の助成を強く要望するが助成金の考えはあるか。

答 带状疱疹は80歳までに約3人に1人が発症すると言われており、激痛も続くという病気であると認識している。带状疱疹を予防するにはワクチン接種が有効であり、带状疱疹後神経痛も軽減することから市民の皆様が生涯健康で健やかな毎日を送るための一助になるものと考えている。国の動向や近隣の状況を踏まえつつ、前向きに検討していく。